

海外旅行、
ESTA料金が
私だけ高額に

事例

ハワイ旅行の渡航認証を取るため「ESTA 公式」で検索し、上位に出たサイトで申請した。申請に150ドル払ったが友達は21ドルだったと知り、再度サイトをよく見ると、公式サイトではなく代行業者のサイトだった。返金してほしい。

海外旅行ではパスポート以外に電子渡航認証の事前申請が必要な国が増えました。例えばアメリカのESTA、オーストラリアのETA、今年からイギリスでもETAが始まり、今後EU諸国でもETIASが必要になる予定です。これらの申請には、インターネットの各国政府機関公式のホームページやモバイル用アプリを利用します。申請の方法や費用は国により異なります。

インターネット上には申請を代行するサイトが多数あり、代

行サイトを公式サイトと勘違いして利用するケースが後を絶ちません。ここで手続きすると正規料金に手数料が上乗せされます。中には手数料が高額になるものもあります。その表記は小さく、さらにサイトのデザインも政府機関の公式サイトに酷似しているので、見極めが難しく注意が必要です。

事例のように、ESTAなどの認証名で検索し、上位に表示されたとしても「スポンサー」や「広告」と付されたものは代行サイトです。相談者はすでにカード決済をして、ESTA認証を取得できていました。勘違いによる利用でも、申請手続きが完了しているとして、サイトからの返金はありませんでした。

渡航が決まれば、まず外務省のウェブサイト「外務省 海外安全ホームページ」へアクセスします。国・地域名で検索し、安全対策基礎データから入国情報、渡航証明の申請方法や費用を確認し、そこに記載された各国の在日大使館など政府機関公式のホームページから申請をしましょう。

消費生活センター

TEL 6319・1000

FAX 6319・1500